

令和3年3月12日

宮崎リハビリテーション学院

令和2年度 自己評価アンケート 結果報告

<調査対象者>

- 全教員 7名

回収率 100% (7/7名)

<調査時期>

- 令和2年2月27日～令和2年3月8日

<結果内容>

- 各評価項目の達成状況
- 各評価項目の課題及び今後の改善方策

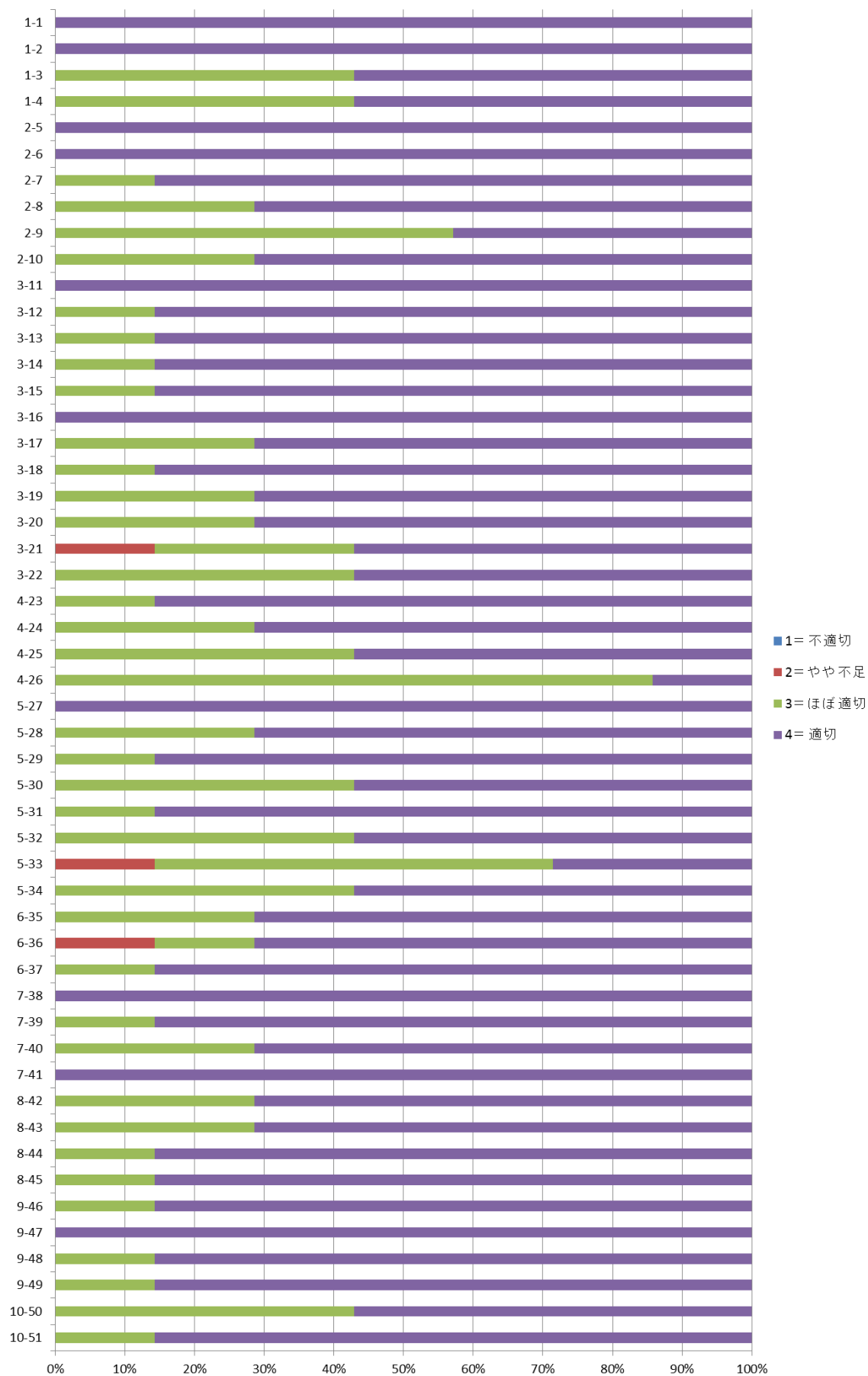
【自己評価アンケート結果;各評価の達成及び取組状況】

- | | | |
|------------------|---------|---------------|
| 1. 教育理念・目的・人材育成等 | 5. 学生支援 | 9. 法令等の遵守 |
| 2. 学院運営 | 6. 教育環境 | 10. 社会貢献・地域貢献 |
| 3. 教育活動 | 7. 学生募集 | |
| 4. 学修成果 | 8. 財務 | |

1=不適切 2=やや不足 3=ほぼ適切 4=適切

No.	質問	評価 平均値	件数(合計12)				比率			
			1	2	3	4	1	2	3	4
1	1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0	0	0	0	7	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	2 学院における職業教育の特色が明確にされているか	4.0	0	0	0	7	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	3 社会のニーズ等を踏まえた学院の将来構想を抱いているか	3.6	0	0	3	4	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
2	4 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等を学生・関係業界・保護者等に周知されているか	3.6	0	0	3	4	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
	5 目的等に沿った運営方針は定められているか	4.0	0	0	0	7	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	6 運営方針に沿った事業計画は定められているか	4.0	0	0	0	7	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3	7 運営組織や意思決定機能規則等において明確化され、有効に機能しているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
	8 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3.7	0	0	2	5	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
	9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.4	0	0	4	3	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%
4	10 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.7	0	0	2	5	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
	11 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4.0	0	0	0	7	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	12 カリキュラムは、体系的に編成されているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
5	13 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が行われているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
	14 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラム作成・見直し等がおこなわれているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
	15 関連分野における実践的な職業教育(インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
6	16 授業評価の実施・評価体制はあるか	4.0	0	0	0	7	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	17 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.7	0	0	2	5	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
	18 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
7	19 資格取得(国家試験合格)の指導体制はあるか	3.7	0	0	2	5	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
	20 教育目標に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.7	0	0	2	5	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
	21 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組みが行われているか	3.4	0	1	2	4	0.0%	14.3%	28.6%	57.1%
8	22 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.6	0	0	3	4	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
	23 就職率の向上が図られているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
	24 資格取得率(国家試験合格率)の向上が図られているか	3.7	0	0	2	5	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
9	25 退学率の低減が図られているか	3.6	0	0	3	4	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
	26 卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.1	0	0	6	1	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%
	27 就職・進路指導に関する体制は整備されているか	4.0	0	0	0	7	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
10	28 学生相談に関する体制は整備されているか	3.7	0	0	2	5	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
	29 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備されているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
	30 学生の健康管理を担う組織体制があるか	3.6	0	0	3	4	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
11	31 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
	32 学生の家族と適切に連携しているか	3.6	0	0	3	4	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
	33 卒業生への支援体制はあるか	3.1	0	1	4	2	0.0%	14.3%	57.1%	28.6%
12	34 高校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	3.6	0	0	3	4	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
	35 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.7	0	0	2	5	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
	36 学外実習、研修等については、十分な教育体制を整備しているか	3.6	0	1	1	5	0.0%	14.3%	14.3%	71.4%
13	37 防災に対する体制は整備されているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
	38 学生募集活動は、適正に行われているか	4.0	0	0	0	7	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	39 学生募集活動に於いて、教育成果は正確に伝えられているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
14	40 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3.7	0	0	2	5	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
	41 学納金は妥当なものとなっているか	4.0	0	0	0	7	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	42 中長期的に学院の財務基盤は安定しているといえるか	3.7	0	0	2	5	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
15	43 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.7	0	0	2	5	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
	44 財務について会計監査が適正に行われているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
	45 財務情報公開の体制整備はできているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
16	46 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
	47 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.0	0	0	0	7	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	48 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
17	49 自己点検・自己評価結果の公開はしているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
	50 学院の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3.6	0	0	3	4	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
	51 学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか	3.9	0	0	1	6	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%

集計結果（比率グラフ化）



【自己評価アンケート結果;課題及び今後の改善方策】

1 教育理念・目的・人材育成等

①課題

- ・ 1-4 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等を学生・関係業界・保護者等に周知されているかに関して
 - *マチコミなどでの配信は行っているが、確認されているかは不明
 - *アドミッションポリシーやカリキュラムツリーなどの学生及び保護者の方に周知されているか不明
- ・ 学生・保護者・教務の共通認識
- ・ 新指定規則への対応や、新型コロナウイルス感染対策の拡充など。
- ・ カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー、アドミッションポリシーはホームページで公開している。
- ・ 周知という点ではHP・刊行物が中心

②今後の改善方策

- ・ 入学式の案内もしくは総会資料の中に、アドミッションポリシーやカリキュラムツリー、学生便覧など保護者の方にも確認できるような内容があるとよいと思います。入学後から卒業に向けた道筋が分かりやすいかと思
- ・ 学生、保護者との連携
- ・ 新カリキュラムの段階的導入、感染症対策のマニュアル化。
- ・ ポリシーをさらに周知するための方法を検討しなければいけない。

2 学院運営

①課題

- ・ 運営方針の理解徹底を図り、職員が一丸となって取り組める体制づくりが必要。
- ・ 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか に関して
 - *OA室に設置されているPCの整備が必要。授業中のパワーポイント作成などに使用できない場合が多い。
- ・ 情報システム化等の柔軟な対応
- ・ ICT化に伴うパソコンなど電子機器の導入と、ニーズに合わせた更新。
- ・ 情報の公開は学院ホームページできているが、より見やすい掲示方法が必要である。
- ・ ホームページのリニューアル

②今後の改善方策

- ・ 事業計画にもとづいた担当による年間事業計画を作成し、承認を受け、全体会議で周知することも必要。
- ・ PCの入れ替えは今後実施予定。ウィルス対策なども実施して、授業中のパワーポイント作成などに使用できるとよい。また、ノート型のPCはほとんど使用できない。使用可能なノート型PCの導入や授業中に移動しながら写真などが取れるためタブレットがあると良いと思います。また、Wi-Fi導入が難しい場合は、ポケットWi-Fiを導入も良いと思います。
- ・ デジタルコンテンツの蓄積、リモート利活用による柔軟な業務・講義体制の構築。
- ・ 学院ホームページでの情報公開の方法を見直す。

3 教育活動

①課題

- ・ 3-21 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組みが行われているかに関して
 - *机上での知識等の修得は可能であるが、実際の臨床場面での知識や技術等の修得が難しい。
- ・ 授業内容の客観的評価
- ・ 国家試験対策の有効性検討と効果判定基準の作成。
新型コロナウイルス感染対策により、研修への参加が不十分。
- ・ 教員間の授業評価が十分とはいえない。

②今後の改善方策

- ・ 実際の臨床場面での知識や技術等の修得が難しいため、今後は母体である病院や関連施設での臨床現場での対応を協議していく。また他施設における労働が可能な場合には、他施設での臨床の場を設けることも考慮できると思います。
- ・ 全教員の教員研修受講
- ・ 国家試験対策への情報コンテンツの導入など。
新型コロナウイルス感染対策については、引き続き行政の指示に従って柔軟に対応しながら、研修活動を検討す
- ・ 教員間の授業評価の仕組みをつくっていく。

4 学修成果

①課題

- ・ ①4-25 気になる学生には早期より保護者連絡の必要性を感じている。
- ・ ②4-26 卒業生など距離や時間などの問題からフォローアドバイスは十分に出来ているとは言い難い。
- ・ 4-24 資格取得率(国家試験合格率)の向上が図られているかに関して
 - *国家試験に向けて、各学年によりレベルのバラつきはあるが1年次よりの積み上げが必要。3年生になってからではやや追いつけない学生もみられる。
- ・ 4-26 卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか に関して
 - *卒業生の声などは広報で実施している。今後の継続が必要と考える。
- ・ スケジュール調整(課題設定)
- ・ 国家試験後確率向上については、対策の有効性確認と情報コンテンツの未整備。退学・休学率の低減については、学生の学力に応じた教育体制が未だ不十分。卒業生の動向調査が必要。
- ・ 卒業生の活躍の把握は一部把握している。
- ・ 卒業生の活躍の把握は伝え聞くことがほとんどとなっている

②今後の改善方策

- ・ ①問題(生活・授業態度、成績)のある学生に対しての教員の情報提供。早めの保護者への対応を心掛けていく。
- ・ 国家試験に向けて、各学年によりレベルのバラつきはあるが1年次よりの積み上げが必要と考える。小テストの実施や勉強方法に迷っている学生に対しては特に指導が必要と考えます。卒業生の声や在学生へのメッセージ(高校生へ向けて)などは今後の継続が必要と考えます。
- ・ 適切な課題設定(難易度、時期等含む)
- ・ 初年次から国試対策まで、学生の学力判定や個別の教育体制の見直しを検討する。卒業生の動向調査の導入。
- ・ 今後は卒業生のネットワーク構築を形成し、活躍を把握できるシステム作りを進めていく。

5 学生支援

①課題

- ・ 5-30 学生の心理的サポートを実施するような専門職がない。
- ・ 身体の健康管理以外に精神面に起因する体調不良者も見受けられるため、教務または専門的な心理カウンセラーの必要性
- ・ 5-27 就職・進路指導に関する体制は整備されているかに関して
 - *就職試験に関するデータ収集や履歴書のチェック、面接の練習が必要な場合がある。
- ・ 学生・保護者・教員の連携
- ・ 学生の心身の健康管理や相談体制が未整備。卒業生の支援については、動向調査の対策が先行と思われる。
- ・ 高校と連携して職業体験授業などを実施しているが、県内全ての高校には実施できていない。

②今後の改善方策

- ・ 非常勤でも時々専門家の助言など受けることができるとよい。
- ・ 情報提供や個別面談による対応の徹底化。心理カウンセラーは検討課題。
- ・ 就職試験に関するデータ収集は2018年度より実施している。学生によっては履歴書のチェックや面接の練習が必要な場合があるため、その都度対応していく必要がある。
- ・ 連絡ツール
- ・ 学生へのアンケートなどによる定期的な健康調査の検討。卒後の支援については、卒業生の動向調査を並行して進める。
- ・ 学院側からもさらに積極的に高校側へアピールをして、職業体験授業を実施していく。

6 教育環境

①課題

- ・ 現在、特に問題ないが設備等の老朽化が認められる機材等あり。
- ・ 6-35 学外実習、研修等については、十分な教育体制を整備しているか に関して
*今年度は新型コロナウイルスの影響によりほとんど実施できなかった。
- ・ 教育のICT化に伴った電子機器の導入、通信環境整備、学生のタブレット・パソコンなどの不所持。
新型コロナ感染対策に伴う学外実習、教員の研修活動の中止などの影響。
防災訓練の内容は適宜見直しが必要である。
- ・ 防災訓練については年1回の訓練のみ

②今後の改善方策

- ・ 今後、見直しが必要である。
- ・ 感染予防対策を取り、可能な範囲で実習等は実施できていると思います。代替え案や次年度に研修や実習(解剖実習など)の考慮が必要になると考えます。
- ・ ICT化については導入促進、入学時のタブレット・パソコン購入の促進、通信環境調査と整備促進。
新型コロナ感染対策については、引き続き行政の指示に従って柔軟に対応する。
- ・ 防災訓練の内容の見直しを進めていく。
- ・ 年1回の訓練だけでなく、学生への避難について明示するものが必要

7 学生募集

①課題

- ・ 学校名、職業名称などは地域に浸透したが、専門性を十分に理解しないまま入学してくる学生もいる。
- ・ 学生募集に関しては概ね適性に実施されており、実績も積みあがっていると思います。
- ・ 入学時の学力把握と入学前教育の対策が未整備。
- ・ 学生募集は、進路ガイダンスや高校訪問、学院ホームページ公表などで活動しているが、さらに他の方策も検討して、多くの高校生に周知されなければならない。
- ・ 進路ガイダンスや高校訪問、学院ホームページなどで活動しているが、より詳細の効果検証が必要。

②今後の改善方策

- ・ 様々な媒体を通し細やかな情報提供をしていくことが今後の課題。
- ・ 今後、高校訪問時に在學生に協力を仰ぎ、母校の学生に向けた資料を作成することでより学校生活のイメージがつきやすくなると思われます。
- ・ 学力調査およびリメディアル教育の拡充。
- ・ 新たな学生募集の活動方法の検討が必要。
- ・ 新しい学習指導要領に対応するための準備が必要

8 財務

①課題

- ・ 他学生同士の繋がりがやや薄いような印象を受けます。
- ・ 現在は特に問題ないと思われる。
- ・ 財務情報については高等教育修学支援制度の必須条件のみ、HP等では公開していない

②今後の改善方策

- ・ 交流会などは実施(今年度は非実施)していますが、他学年との交流が図れるスポーツ大会への援助拡大等もできるとよいと思います。
- ・ 情報公開の必要に応じて、財務内容の公開を検討する。

9 法令等の遵守

①課題

- ・ 学内のハラスメントに関する対策や相談窓口などが不十分。
- ・ 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善はすべてにおいてできていない

②今後の改善方策

- ・ ハラスメント対策についての学内の規範を検討する。
- ・ 改善に向けて継続した計画の立案、情報の共有

10 社会貢献・地域貢献

①課題

- ・ 今年度は新型コロナウイルスの影響によりほとんど実施できなかった。
- ・ 現在は特に問題ないと思われる。
- ・ 学生ボランティアの紹介し、支援を行っているが、学院としてさらに継続した支援が必要である。

②今後の改善方策

- ・ 来年度に向けて、一昨年度同様にボランティア活動を奨励し参加学生の把握をしていく必要があると思いま
- ・ 継続したボランティアの支援を進め、職員も積極的に活動する。
- ・ 地域の要請に応じて適切に対応する。
- ・ 継続したボランティアの支援を進めていく。